

音更町消費者被害防止 ネットワークニュース



2018年 秋号



震災を口実にした「だまし」にご注意を

9月6日未明の北海道胆振東部地震において被災されました皆様へ、謹んでお見舞い申し上げます。

地震当日、共栄コミセン内にある音更町消費生活センターは、停電で電気も点灯せず電話もつながらない状態での開所となりました。お陰様で翌7日には電気や電話も復旧し、通常業務に戻りました。このような大規模災害が発生すると、「**点検商法**」「**便乗商法**」など、災害に関連した消費者トラブルが発生する傾向にあります。今後も、北海道胆振東部地震を口実にして、個人情報聞き出す「**不審電話**」、義援金をだまし取る「**サギ**」、不正な修繕費用を請求する「**悪質商法**」等、様々な犯罪が行われる可能性があります。悪質商法は災害発生地域だけが狙われるとは限りません。「電話は一旦返答を保留し、**音更町消費生活センター（☎32-3211）**や**警察に相談する**」「**訪問者は身分証明書を確認する**」など慎重に対応し、被害に遭わないよう十分注意しましょう。

過去の災害時にみられた事例

公的機関を思わせる名称を用い、消費者宅を訪問したり、ハガキを送って義援金名目のお金を求める



「仮設住宅に入っている人を老人ホームに入れたいので名義を貸してほしい」という電話の後、「名義貸しは犯罪」と言って解決金を求める



見守り 新鮮情報

第107号

事例1 町会の世話役の名前を出しながら「**義援金を集めている**」と言う人が家に来て、断ったのに「Aさんは10万円、Bさんは100万円出した」などと言って、なかなか帰ってくれなかった。その後、外で待っていた仲間と「うまくいかない」などと話していた。詐欺ではないか。(60歳代 男性)



事例2 女性の二人組が、バス停で並んでいる人達に対し**順に紙の箱を差し出して被災者支援のお金を集めていた**。こそそとした態度であやしかった。(60歳代 女性)

事例3 **大手新聞社に似た名称**を名乗り、震災の寄付集めに訪問してよいかと電話があった。信用できるか分からないので断ったが**不審だ**。(80歳代 女性)

震災に便乗した 義援金詐欺に注意!

こんにちは♪



音更町消費者被害防止
ネットワーク構成団体を
紹介するコーナーです

消費者の日街頭キャン
ペーンではフクハラを
担当しました



第2回目は

音更町民生児童委員協議会 (日向國廣会長) です

- ◆ 設 立：昭和31年12月
- ◆ 会 員 数：99名 (男60名、女39名)
- ◆ 主な活動：10部会 (94地区) に分かれ、独自に運営されています。委員の日常的な業務としては、生活支援活動全般ですが、高齢者、障害のある人に対する相談対応、訪問、見守りや災害時の避難行動の体制づくりおよび児童などの問題に対する相談、住民や行政との連絡役、地域の福祉サービスの情報提供などを行っています。全体としては、総会 (4月) の他に2カ月に1回の定例研修を行い、専門家の講義や委員相互の情報交換を行っています。

◆ 会長よりひとこと

民生児童委員協議会は、10部会に分かれ、独自に活動しています。委員は高齢化しているものの欠員もなく、それぞれの意識は高く、会議・研修等への参加も積極的です。今後は災害時の対応等も含め、ネットワークを活用して取組んでいきたいと思っております。宜しくお願いします。



部会ごとに
研修会も



ご案内

音更町消費生活センターの無料出前講座

音更町消費生活センターでは、消費者啓発活動の一環として出前講座をおこなっております。相談員が皆様のもとに伺い、実際の事例を基に分かりやすくお話をします。クイズや替え歌を用い、楽しく知識を身につけていただける内容になっています。対象は音更町内在住、在勤の方です。

「各種団体・サークル」「町内会」「老人会」「地域サロン」「学校・PTA」などで是非ご活用ください!

◆お申込み・お問合せは

67-5541 まで

◆消費生活相談電話は

32-3211 まで



発行：音更町消費者被害防止ネットワーク (事務局：音更町消費者協会 TEL67-5541)
音更町老人クラブ連合会 音更町防犯協会 音更町民生児童委員協議会 音更町消費者協会